



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 山洋電気株式会社

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 経理部部长 (氏名) 田母神 観一郎 TEL 03-5927-1020

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	24,375	68.8	2,192	144.7	2,237	86.9	1,705	115.0
26年3月期第1四半期	14,440	△6.0	896	10.5	1,197	58.6	793	189.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,482百万円 (△15.1%) 26年3月期第1四半期 1,746百万円 (176.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	27.45	—
26年3月期第1四半期	12.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	80,382	45,903	57.1	738.88
26年3月期	78,232	45,819	58.6	737.51

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 45,897百万円 26年3月期 45,813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	30.7	3,500	65.4	3,500	48.1	2,600	56.9	41.85
通期	77,500	14.5	6,600	36.9	6,600	22.9	4,900	31.4	78.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3カ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、平成27年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。

このため、上記の連結業績予想には、海外連結子会社の平成26年1月1日から同3月31日までの3カ月間の業績も含まれています。

この措置の影響を除いた、平成27年3月期の連結対象の全社を同時期とした連結業績予想は下記のとおりです。

第2四半期(累計) 売上高36,500百万円(16.3%)、営業利益3,100百万円(46.5%)、経常利益3,100百万円(31.2%)、当期純利益2,300百万円(38.8%)、

1株当たり当期純利益37円03銭

通期 売上高73,000百万円(7.9%)、営業利益6,200百万円(28.6%)、経常利益6,200百万円(15.5%)、当期純利益4,600百万円(23.4%)、

1株当たり当期純利益74円05銭

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	64,860,935 株	26年3月期	64,860,935 株
27年3月期1Q	2,742,879 株	26年3月期	2,741,211 株
27年3月期1Q	62,118,404 株	26年3月期1Q	62,128,435 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における日本経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策等により、回復基調で推移しました。そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要は順調に推移しました。

その結果、当第1四半期における連結売上高は24,375百万円（前年同期比68.8%増）となり、連結営業利益は2,192百万円（前年同期比144.7%増）、連結経常利益は2,237百万円（前年同期比86.9%増）、連結四半期純利益は1,705百万円（前年同期比115.0%増）となりました。

受注高は26,987百万円（前年同期比58.8%増）、受注残高は16,401百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

なお、従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヵ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。

このため、当第1四半期実績には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヶ月間の業績も含まれています。当第1四半期実績に含まれる海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの実績は、以下の表の右欄のとおりです。

(単位：百万円)

	2015年3月期 第1四半期実績	2014年1月～3月 海外連結子会社実績
売上高	24,375	4,641
営業利益	2,192	434
経常利益	2,237	425
四半期純利益	1,705	313

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は19,768百万円（前年同期比25.7%増）となり、セグメント利益は1,310百万円（前年同期比146.2%増）となりました。

## ②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は3,719百万円（前年同期比203.4%増）となり、セグメント利益は142百万円（前年同期比56.3%増）となりました。

## ③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は2,140百万円（前年同期比141.9%増）となり、セグメント利益は206百万円（前年同期比293.3%増）となりました。

## ④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は5,096百万円（前年同期比240.6%増）となり、セグメント利益は219百万円（前年同期比3,244.5%増）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD., SANYO DENKI TECHNO SERVICE (SINGAPORE) PTE. LTD. があります。セグメント売上高は7,435百万円(前年同期比145.3%増)となり、セグメント利益は252百万円(前年同期比36.2%増)となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、北米、台湾、日本のデータセンタ向けサーバの需要が増加しました。また、従来からの大口市場である通信業界向け、および太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要が増加しました。

ファクトリーオートメーション業界向けでは、工作機械などの需要が引き続き回復傾向にあり、販売数量が増加しました。

その結果、売上高は7,691百万円(前年同期比102.9%増)、受注高7,755百万円(前年同期比83.3%増)、受注残高2,876百万円(前年同期比22.2%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、エンジン発電機が官公庁向けに、無停電電源装置は製造装置向け、および保守関連を中心に需要が堅調に推移しました。太陽光発電用パワーコンディショナは、需要の増加に併せて生産数量の増大を図り、短納期での提供を目指しました。しかしながら、通信産業向けの電源装置の需要は低迷しました。

その結果、売上高は2,122百万円(前年同期比8.3%減)、受注高3,423百万円(前年同期比0.2%減)、受注残高3,889百万円(前年同期比21.9%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国でのIT関連設備投資が堅調に推移し、工作機械、マウンタ、一般産業機械向けの需要が増加しました。また、自動車関連の設備投資の拡大により、ロボット、射出成形機などの需要が堅調に推移しました。

その結果、売上高は12,269百万円(前年同期比80.4%増)、受注高13,426百万円(前年同期比85.9%増)、受注残高5,859百万円(前年同期比45.1%増)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、交通・通信・産業機器関連が堅調に推移し、医療関係も回復基調にあります。また、太陽光発電機器とその制御盤関連の需要は引き続き旺盛でした。

鉄鋼関連事業においては、増産への対応、老朽化設備の更新および合理化の推進などの影響により需要が増加しました。また、機器の安定的な稼働を保つため、重要設備に関する予備品への需要も一層高まってきました。

その結果、売上高は1,830百万円(前年同期比68.2%増)、受注高1,830百万円(前年同期比6.9%増)、受注残高3,015百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

⑤電気工事業

製鉄プラント設備工事関係は、鉄鋼業界の業績回復により設備投資が活発化し、生産設備の安定稼働のための補修工事が増加しました。

また、太陽光発電設備関連機器、工事設計を含む一括施工に対する需要は、商社・エンジニアリング会社との協業の高まりにより活況でした。

その結果、売上高は461百万円(前年同期比3.7%増)、受注高551百万円(前年同期比37.2%増)、受注残高760百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で2,150百万円の増加、負債で2,066百万円の増加、純資産では83百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少1,002百万円、受取手形及び売掛金の増加670百万円、(長期)繰延税金資産の増加448百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加972百万円、未払法人税等の減少774百万円、短期借入金の増加629百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、為替換算調整勘定の減少483百万円、利益剰余金の増加307百万円、その他有価証券評価差額金の増加218百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、12,639百万円となり、前連結会計年度末より1,079百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動による資金の増加は、992百万円(前年同期間は1,849百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,238百万円、売上債権の増加額861百万円、減価償却費581百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動による資金の減少は、1,600百万円(前年同期間は437百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出1,010百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動による資金の減少は、103百万円(前年同期間は298百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出291百万円、配当金の支払額497百万円、短期借入金の増加額768百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年3月期の業績予想につきましては、2014年4月23日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,387百万円増加し、利益剰余金が900百万円減少しています。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,162	13,160
受取手形及び売掛金	21,952	22,622
有価証券	60	167
商品及び製品	4,442	4,416
仕掛品	3,299	3,623
原材料及び貯蔵品	6,079	6,503
未成工事支出金	188	253
未収入金	484	717
繰延税金資産	850	618
その他	475	473
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	51,959	52,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,614	9,642
機械装置及び運搬具(純額)	2,052	2,073
土地	6,443	6,440
建設仮勘定	817	257
その他(純額)	727	695
有形固定資産合計	18,656	19,109
無形固定資産	508	512
投資その他の資産		
投資有価証券	4,659	4,981
繰延税金資産	160	609
その他	2,317	2,666
貸倒引当金	△28	△18
投資その他の資産合計	7,108	8,238
固定資産合計	26,273	27,859
資産合計	78,232	80,382

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,703	13,675
短期借入金	8,265	8,895
未払法人税等	1,080	305
繰延税金負債	5	4
役員賞与引当金	72	17
その他	3,878	4,116
流動負債合計	26,006	27,015
固定負債		
長期借入金	2,206	1,985
リース債務	356	334
繰延税金負債	128	136
再評価に係る繰延税金負債	977	977
退職給付に係る負債	2,598	3,943
その他	139	87
固定負債合計	6,406	7,463
負債合計	32,412	34,479
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	23,605	23,913
自己株式	△906	△907
株主資本合計	44,086	44,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	690	908
土地再評価差額金	799	799
為替換算調整勘定	1,125	641
退職給付に係る調整累計額	△887	△845
その他の包括利益累計額合計	1,727	1,504
少数株主持分	5	5
純資産合計	45,819	45,903
負債純資産合計	78,232	80,382

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
売上高	14,440	24,375
売上原価	11,109	18,554
売上総利益	3,331	5,820
販売費及び一般管理費	2,434	3,627
営業利益	896	2,192
営業外収益		
受取利息	9	21
受取配当金	53	59
為替差益	233	-
助成金収入	13	15
その他	22	56
営業外収益合計	332	152
営業外費用		
支払利息	21	15
為替差損	-	74
その他	10	17
営業外費用合計	32	107
経常利益	1,197	2,237
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	7	0
役員退職慰労金	20	-
特別損失合計	27	0
税金等調整前四半期純利益	1,170	2,238
法人税、住民税及び事業税	97	393
法人税等調整額	279	138
法人税等合計	377	532
少数株主損益調整前四半期純利益	793	1,705
少数株主利益	0	0
四半期純利益	793	1,705

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	793	1,705
その他の包括利益		
<sub>其他有価証券評価差額金</sub>	288	218
<sub>為替換算調整勘定</sub>	665	△483
<sub>退職給付に係る調整額</sub>	-	42
<sub>その他の包括利益合計</sub>	953	△222
四半期包括利益	1,746	1,482
(内訳)		
<sub>親会社株主に係る四半期包括利益</sub>	1,746	1,482
<sub>少数株主に係る四半期包括利益</sub>	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,170	2,238
減価償却費	478	581
売上債権の増減額 (△は増加)	2,261	△861
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△816	△959
仕入債務の増減額 (△は減少)	345	1,267
その他	△998	△258
小計	2,441	2,006
法人税等の支払額	△630	△1,075
その他	38	61
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,849</b>	<b>992</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△453	△1,010
その他	15	△589
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△437</b>	<b>△1,600</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	643	768
長期借入金の返済による支出	△304	△291
配当金の支払額	△559	△497
自己株式の取得による支出	△1	△1
その他	△76	△82
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△298</b>	<b>△103</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>425</b>	<b>△368</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,538	△1,079
現金及び現金同等物の期首残高	9,733	13,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,272	12,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	11,057	1,209	877	1,062	234	14,440
セグメント間の内部売上高または振替高	4,671	16	7	434	2,796	7,926
計	15,729	1,225	885	1,496	3,031	22,367
セグメント利益	532	91	52	6	185	868

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	868
セグメント間取引消去	27
四半期連結損益計算書の営業利益	896

II 当第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	14,325	3,696	2,129	3,621	602	24,375
セグメント間の内部売上高または振替高	5,443	23	11	1,474	6,833	13,785
計	19,768	3,719	2,140	5,096	7,435	38,160
セグメント利益	1,310	142	206	219	252	2,132

## 2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,132
セグメント間取引消去	60
四半期連結損益計算書の営業利益	2,192

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヵ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。

このため、当第1四半期実績には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヶ月間の業績も含まれています。当第1四半期実績に含まれる海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヶ月間の実績は以下のとおりです。

(自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)

## (1) 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	—	1,841	1,074	1,446	278	4,641
セグメント間の内部売上高または振替高	—	19	8	600	3,391	4,019
計	—	1,861	1,083	2,046	3,669	8,661
セグメント利益	—	86	102	77	151	417

## (2) 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	417
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	434